

# 小さなデイサービス緑ヶ岡

## 運営推進会議議事録

平成 28 年 7 月 14 日 (木)

14 時～15 時

小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム 1 階

司 会 川村桂恵 (小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム管理者)

書 記 松下龍一 (事務員)

参加者 山田勝雄 (代 表)

山崎克也 様 (町内会長)

中嶋義範 様 (元 8 班会長)

平畑豊作 様 (町内会事務局長)

今野正廣 様 (民生委員)

工藤チエ子 様 (地域住民)

今野文子 様 (ボランティア)

黒田禧久江 様 (ご利用者様)

### 開催の挨拶

川村 ー今年 4 月から、地域密着型となり、道から市へと移行しました。今回、皆様にお集まりいただき、その旨、色々とお力になっていただきたいこと、事業所の内容を理解していただきたいことを含めましてお集まりいただきました。半年に 1 度、運営推進会議の開催が義務付けられています。これからも、1 2 月に予定しています。今後ともご参加のほどよろしく願いいたします。

### 1 運営推進会議について

運営推進会議とは、利用者や利用者の家族、市町村職員、包括支援センター、地域住民の代表者に提供しているサービス内容等を明らかにすることにより、事業所による利用者の抱え込みを防止し、評価される事でサービスの質の確保を図ることを目的として設置する。

## 2 運営報告事業

### (1) 4～5月のサービス利用状況

#### 介護度別利用状況

介護度	5月	6月
要支援1	5名	4名
要支援2	1名	1名
要介護1	4名	5名
要介護2	8名	7名
要介護3	10名	10名
要介護4	1名	1名
要介護5	0名	0名
計	29名	28名

### (2) サービス内容・行事等

#### 【5月】

- 3～30日 紫陽花の花の壁飾り：9月のシルバー作品展出展に向けて
- 9～13日 母の日：手作りカーネーションプレゼント
- 10日 お誕生会（1名）：お誕生日カードプレゼント・おはぎ作り
- 11日 花の植え：朝顔・ひまわり・マリンゴールド他
- 20日 日本舞踊観賞会：ボランティア「いまい」3名来所：14:00～15:00
- 30日 種芋植え・ミニトマトの苗植え

#### 【6月】

- 1～24日 町内ボランティアさん1名：毎週木曜日来所、手工芸・レク・片付け等  
紫陽花の花の壁飾り：9月のシルバー作品展出展
  - 2日 お誕生会（3名）：お誕生カードプレゼント・カナッペ作り
  - 20～24日 父の日：ブルーのカーネーションプレゼント
  - 27日～ 葡萄の壁面飾り：9月のシルバー作品展出展に向けて
- ※ 5月23・28・29日：町内2名（工藤様・佐野様）のご協力で、花壇・畑作りを行いました。ご協力有難うございます。

### 3 介護サービスにかかわる事故などの報告

	5月	6月
アクシデント	0件	1件
インシデント	0件	2件
ヒヤリハット	0件	2件
計	0件	5件

～ヒヤリハット～

6月14日（火）

中村様<インスリンセット・返し忘れ>

- ・帰宅準備の際、鞆の中にインスリンセットを入れ忘れ、そのまま送迎してしまった。直後に管理者が気づき、ご自宅へお届けし、謝罪を行った。

**解決策**

- ・送迎時に忘れ物が無いか十分に確認を行う。
- ・持ち物チェックシートを作成し、準備を行う際にダブルチェックを行う。
- ・職員間の声掛け（コミュニケーション）を強化する。

～インシデント～

6月1日（水）

日裏様<上着を着せ忘れ帰宅>

- ・帰宅時の身支度で上着を着せ忘れ、ご家族から電話連絡が来る。連絡直後、直ちに送迎を担当した職員が訪問し謝罪を行う。

**解決策**

- ・迎時に忘れ物が無いか十分に確認を行う。
- ・持ち物チェックシートを作成し、準備を行う際にダブルチェックを行う。
- ・職員間の声掛け（コミュニケーション）を強化する。

6月6日（月）

小野寺様<ズリ落ち>

- ・カーペットの上に体を右下にして倒れているのを発見。「目まいがした」と本人。来所持より、ふらつき強く玄関からリビングの椅子に座るまで二人介助を行い、その旨を看護師に伝え様子・経過観察を行っていた。ご本人より、「ワイパックス1錠を朝服用して来た」とのこと。バイタルチェック実施。血圧 124/77 P62 身体チェック実施。腫れ・皮膚変色見られず、痛みの訴え聞かれず、昼食となる。その後、目まいや体調不良、痛みの訴え等無く過ごされている。ご家族様に電話連絡入れるも留守の為、送迎時説明。「ああ、そうですか。気持ちの問題もあるし、薬の副作用も有るんだ」とご主人が話されていた。

**解決策**

- ・今まで、ご本人の希望で手付きの無い椅子を使用していたが、ご本人と話し合い、手付き椅子に変更。
- ・座面の座布団も滑りの要因になる為、紐を付け固定する。
- ・職員同士の連携による見守りの強化。情報の共有を行い、安全面に配慮。

～アクシデント～

6月6日（月）

千葉様<利用日 間違え>

- ・利用日でない日に送迎し、来所。送迎後の事務処理時に利用日ではないことに気が付き、ケアマネに連絡し、ご家族に連絡していただく。「家に居ないので探した。」とケアマネより連絡があり、直ちにご家族様に電話し、管理者が丁寧に説明と謝罪を行う。「良いですよ。DS に行っていたなら良い

ですよ。来週もお願いします。」と次男様より

**解決策**

利用日：月曜日から隔週（6月は13日・27日）

水曜日～毎週（1日・8日・15日・22日・29日）

- ・カレンダーによる、第1週・2週との認識違いがあった。
- ・提供表と照らし合わせ、利用日の確認を行い、チェックを入れ職員の周知を図る。

方川様＜交通事故：追突＞

- ・午前8時45分頃、方川様を乗せ昭和方面から鶴見橋方面を左車線で走行し、信号付近で黄色信号に変わり、前方車（軽自動車）が急ブレーキを掛け、当車もブレーキを掛けたが間に合わず追突した。

利用者様・運転職員に怪我等無い旨の連絡が管理者に入り、現場に駆け付ける。ご家族様に連絡を入れるも留守にて取れず。方川様を乗せ換え一旦事業所へ。その後、ご家族様と連絡がつき、管理者が付き添い釧路脳神経外科病院受診。「MRI」「頸部X線」検査を行い、医師より異常なしの診断を受け、ご自宅へお送りし、管理者・職員でご家族様に状況を説明し謝罪を行う。長男のお嫁様が対応され「二人とも怪我が無く良かったです。検査して頂きありがとうございます」というお言葉を頂く。

**解決策**

- ・車間距離を十分に取り、焦らずに運転をし、利用者様の安全に心掛ける。
- ・遠方の利用者様のお迎えを、小規模まことの運転手をお願いし、時間に余裕を持って送迎が出来るよう環境を整え、職員の精神面の保護に努める。

#### 4 （意見交換 一質問・ご意見一）

今野様 民生委 代表 ヒヤリハット・インシデントは、事業所全体にこうやいなさいというものがあるのか？

代表 アクシデントは、道や市に報告義務があるもの。骨折を伴うもの、救急車を呼び病院対応した場合、事業所の中で死亡等が発生した場合。ころぶ、ひざつき、嘔吐等は報告義務がない。また、金品が盗まれた、利用料が搾取された場合も報告義務がある。

ヒヤリハットは、ヒヤッとした場合。トイレ介助で転びそうになりヒヤッとした場合は、レポートを提出することを、まことが決めている。

インシデントは、ヒヤッとした、よろけた、壁にあたった、骨折もせず、救急車も呼ばず、受診しなかった場合など。

今野様 代表 インシデントも、まことで決めているのか？

代表 ヒヤリハット・インシデントのレベルは、まこと内で決めている。

医療機関（大きな病院）では、医療安全対策委員会を開かなければならないことになっており、一般的に使われている言葉です。行政から求められているのは、アクシデントのみです。

中嶋様 体が弱い人が来るんだから、あたりまえのこと。なかなか大変な事だ。健康な人ではなく、よたっている人ばかり来ている所なんだから。よろけたり転ぶのはあたりまえ。いちいち報告するのは大変な事だ。

代表 職員が予想できている場合は、大変な事故にはならない。出来るだけ書き止め、改善策を出すためにレポートを書くのであって、その人を責めるためにやっているのではない。

今野様 私も、現職の時に、ヒヤリハットやインシデントが発生した時に、どういう事例だったかを、月に一度やったけど、こういう事例があったから注意して行こうというのが目的ではなく、最終的にどこの誰がやったかを追及する場になって、本人を責める事になっていた。JR だったけど、重大な事故につながる問題があるので、嫌な思いをしたことがある。本人を責めることにならないようにしてほしい。

川村 一応、注意は厳重にしなければならないこと。一番は対策。職員もおちてしまう。アクシデントもヒヤリハットもある。自分も、明日から仕事に行きたくないという気持ちになったこともある。職員を守る立場として、アメとムチの感じで、頑張ってもらいたいので、そういう体制にならないようにしているつもりである。

中嶋様 介護という仕事は、色々と大変ですよ。このあいだみたいな事件が起こるから、報告することが必要になるんだろうしね。

代表 インシデントを書かす事で、個人を責めると、職員が隠すようになることが一番おっかないこと。

今野様 長い間やっていると、いろんなことになる。隠してしまうとか、責める場になるからやめようとか。これだけやってくれるということは、利用者にとっては、ありがたいことだ。

今野様 女性 インスリンセットを忘れることはあるのか？インスリンは、病院で打つものだと思います。

川村 インスリンを打って、いつものカゴに入れておく。すぐにカバンにしまえばいいのだが、低血糖が起きた時にもう一回測定しなければならない。いつものカゴに入れ、帰る直前にカバンに入れるという事で、忘れてしまった。

今野様 女性 自宅でも使うんですか？

代表 人によっては、自宅用と施設用の2つを用意してくれる。この方は、持ってきて持ち帰る。

今野様 女性 一日一回で足りないのか？

川村 その人の病状により、朝夕の方や、朝昼晩という方もいらっしゃる。

今野様 女性 30年前で忘れたが、内のだんなも13単位で、自分で打てなくて私に打てというけど、絶対に打たなかった。自分でやりなさいと。

工藤様 私のおばあちゃんもそうだった。もう打つところがない。目が見えなくなってくるので、結局私がやらなければならなくなる。やる方もおっかない。

代表 糖尿病がひどくなると、白内障を併発してしまう。

今野様 旅行に行く時も、荷物に一杯入れるので、全部出して、インスリンだけ持たせた。お腹のそばに朝昼晩打つ。

女性 お腹が一番打ちやすいが、打つところなくなるくらい固くなってくる。打つ方もおっかない。

工藤様 お腹が一番打ちやすいが、打つところなくなるくらい固くなってくる。打つ方もおっかない。

今野様 そこだけ肉が無くなり痩せてくる。

女性

中嶋様 壊疽まで来ると言ったら大変な事か？

代表 壊疽は、血管が閉塞した人。また、糖尿病とは直接関係ないけど、それが、さっきの13単位までいくと、低血糖がコントロールつかないくらいになる。

中嶋様 近所の人が足にきて、もうもがないとだめかなというところまできている。

代表 直接糖尿病とは関係ない。毛細血管がつまって来た人なんです。

中嶋様 まだ目は見えているけど、足を切らなければならなくなってきた。闘病病になるとひどいことがおきてくる。

代表 足をめくると、動脈瘤になっている人。下肢の静脈瘤がぼこぼこみみずみたいになっている。あれが閉塞になりやすい人の特徴。ふくらはぎの所に血管が浮いてくる。そうなると、末梢の血管からつまっていくので、先に血液が流れていかず、先が腐っていく。糖尿病になると、血管が細くなっていく。目には沢山の毛細血管が通っているの、血液が流れにくくなり、目が見えなくなっていく症状が出てくる。

今野様 病気になりたくないと言ったって、これだけはどうしようもない。

民生委

中嶋様 こういう施設があるという事は、いいことだ。今まで何もなかったから。今では増えて来て、我々年寄りにはいいことだと思っている。

黒田様 私も、本当に幸せだと思います。

今野様 自宅で介護するという事は、本当に大変な事だ。

女性

工藤様 今なら、水洗だからいいけど、寝ている暇がない。年寄りになると近くなるので、起きてトイレに連れて行かなければならないので大変。糖尿病のおばあちゃんの介護は大変だった。目が見えなくなり、1日2回はインスリン。食べ物の制限があり、子供の食べ物、おばあちゃんの食べ物で大変な思いをした。そして、我儘になるから。

代表 自宅で病気になっても、ずっと自宅で生活していきたいと思いませんか？それとも、ある程度の所で、手がかかるようになると、施設の方がいいと思われませんか？

黒田様 施設の方がいいと思う。

工藤様 子供に負担をかけたくない。内の父さんが具合が悪くなったら、すぐここに連れてくる。

代表 ここは基本的に昼間だけ。夜寝るのは家。そういう使い方で満足していただけるのか、施設に入れるのか。

中嶋様 施設に入れるとなると、敷金から月の支払いが何十万にもなる。

山崎様 まことさんは、貝塚2丁目にもありますよね。

代表 小規模と高齢者下宿と、隣にグループホームで、認知症の方が入っている。

今野様 貝塚が1号店というか、さいしょだったでしょう？

女性

中嶋様 部屋数や介護員の人数によって、ただ増やすということにならないでしょ？

代表 そうなんです。市が計画を立てている。ここは、小規模デイサービスということで登録させていただいている。1日の最大定員が14人です。

山崎様 増やすとなると、敷地の問題もあるし、人数を増やすという事にはならないよね。

代表 難しいのは、通ってくる人数ではなく、登録なんです。14人来る日もあれば、病院等で休まれ、8人しか来ない日もあり、結構大変です。入るお金は、来た人からしかもらえない。調子が悪くて来れない方には、何かあったら大変なので、職員に声掛けや、様子を見に行ってもらったりしている。

今野様 それをやってもらっているからありがたい。

民生委

中嶋様 いつかも、今日は具合が悪いから来ないといった近くの利用者が、本人はしゃべっているつもりだけど、ろれつが回っていない事に気づいてくれて、すぐ見に行ってくれ、脳梗塞が助かった。

今野様 でも、今は、お風呂に入りここに通っている。

女性

平畑様 やっぱり、独り者だったら、それが一番大事なんだよね。

今野様 私は、支援1なんですよ、あれから。それで、ここに前にも来たし、他の所にも行ったりしてたけど、自分としては、どうもいきたくないんですよね。

代表 支援の人はいいですよ。散歩して、色々な事をしたほうが。

今野様 だけど、治ったと思われると困るなと思う。市が一回検査に来る。そしたら、昨年までは2できていたが、同じ友人は、介護になったと威張っている。受け取り方が違う。

女性

代表 使わなきゃ損という方はちょっと間違っている。

今野様 それでいても、こうやってボランティアに来ているけど、かまわないものでしょうか。

女性

代表 かまわないんですよ。要介護は、なるべく軽い方がいい。軽くなるために努力していただいて、一生懸命家でも運動していただいて、それである程度自分のことが出来るようになった方は、こうしてボランティアに来ていただいて、今

度は、人のお世話をさせていただく。

今野様 女性 お世話は出来ないけど、草取りぐらい出来ると思って、先月から来ているんだけど。

今野様 民生委 近くにこういう所があると心の支えになるから、年を取った時つぶしたくないと思って、見回りに来るときも、心がけているけれども、その人によっては、遠くに行っちゃったりする。色々な人が居るから。

行政ですよ。これからどうなるのか心配。介護報酬も引き下げられてきているとか。要支援から要介護2までは、利用料負担を高くするとか。全国一律だったのが、来年4月から、市町村でやる事業に移行されていって、負担が変わって来て、今まで段差を解消した、手すりを付けたという場合、10万かかれば1万負担すればよかったんだけど、全額負担になってしまったり、色んな部分での改定が見込まれている。それが心配。私たちは、40歳から介護保険を払ってきている。しかし、要介護2までがそういう状態になるとなかなかお金は払えない年を取ると、100万円かかると、100万円出せないから、介護ベットとか借りるのも、1割負担で良かったものが、100%負担になったら、借りるのも我慢しなければならなくなる。

何のために、40歳から介護保険を払って来たのか。いざという段階になったら、目の前にそれが来てしまっている。

事業者さんも大変だし、利用者さんも大変になるような、目の前に来てしまっている。何とかしなければと思っている。

山崎様 それはたしかにそうだ。ただ、10人いて、1人が悪い人がいるとなってしまう。確かに、だんだんしめられていってしまう。だから、要支援でも要介護でも、まだ上げようとして、なんぼでも出来るのに、この前みたいに、そこにいるときだけびっこひいていて、行ってしまうときさっさと歩いている奴が悪く見られて、結果的には、たった100人いるうち1人いるだけでしめられてきてしまう。

今野様 民生委 要介護にしても、要介護3になってから特別養護老人ホームに入れるとかでは遅い。要支援・要介護の軽いうちに手だてを加えて行けば、ずっと持続した状態で保っていけるんだけど。その支援を放棄しちゃったら、大変なことになる。

平畑様 悪い事をして、懐をこやすやつがいるから困る。

今野様 民生委 釧路は、そういう面ではだんだん良くなって来ている。保護世帯が減少しているのは、色々な仕事を増やす面倒を見ているけど、たまに新聞で不正受給をすばんと上げる。そうすると、がたがたと減る。不思議なもので、危ないと思うんだよね。

代 表 近くで言えば、今ご指摘の要介護1・2の人は、この通所介護は使えなくなる。29年度から。

山崎様 在宅と言うのも基本になってくるんですよ。



代 表 支援の人は、元気で、逆にボランティアで来て下さいと言う事になる。

今野様 私も、他のボランティアでは 40 年近くやっている。貧乏人だからだめなんです

女性 よね。

平畑様 逆にボランティアしてもらいたくなって来ている。

今野様 逆なんだけど、まだ少しはいいかなと思って頑張っているんですけど。

女性

平畑様 一人にいるんだったら、こういう所に来て、顔出して、元気も良くなるんだけど。

山崎様 内も、夫婦でいて、どちらかが先に行くか分からないけど、残った方は、こういう所にお世話になるしか、子供に面倒かけないったら、心のよりどころになる。

工藤様 近くにあるというのが一番いいよね。

代 表 改定に合わせて、今頂いている利用料の見直しも来年の 4 月にあるんです。ちょっと下がるという話です。利用される方にとっては、負担が減るのでいいんですけど、先程のように 2 割負担になる可能性もある。だから、トータルでは増えてしまう。ですから、事業所に入るお金は減るのです。いろいろ難しい問題はあります。

工藤様 だって結婚しない人が多いんだもの。やっぱり政治が悪いんでしょうか。

平畑様 一概に政治だけに押し付けられないけど、全体的に言えば、政治だという事になるんだろうね。

工藤様 子供がいらないということは、将来どういうふうになるんだろうね。大変なことだと思うよ。

山崎様 だから、年金を支えてくれる人がいなくなる。

平畑様 産めと言ったら大変なことになるよね。産めと言ったら、つるし上げられてしまう。女が子供を産むのはあたりまえだという時代になっていない。

今野様 私は、二人目を産む時に、おじいちゃんに女性は機械だからと言われた。私は、

女性 黙って聞いていたけど。

平畑様 昔は男が強かったけど、今は女が強くなったから逆になったんだろうね。

川 村 働く女性が現に増えているのは確かですよ。社会進出でね。

川 村 内の事業所は、市の方で依頼され、釧路通所型予防介護事業と言って、元気づくり、口腔教室を、7 月 16 日に開催いたします。市の方に申し込んでいただければ、内の事業所で実施していますので、ぜひ機会があったら参加して頂きたいと思います。

他に意見のある方はいませんか。

本日は、どうもありがとうございました。

平畑様 こういう話が聞けるだけ良かったと思います。

※ 次回開催 12月8日(木) 14:00～15:00 小さなデイサービス緑ヶ岡ホーム